

T K C からのお知らせ

証憑からの仕訳計上機能を改訂した FX4 クラウド[2024 年 07 月版]を
令和6年7月22日(月)に提供します。

1. 改訂内容（証憑からの仕訳計上機能の改訂）

(1) 背景

証憑からの仕訳計上機能で計上できる仕訳は単純仕訳形式のため、以下の2つの問題があります。

- ①積上げ計算採用時における「免税事業者等からの課税仕入れにかかる経過措置」の「仕入税額とみなす額」の計算に関する問題

証憑からの仕訳計上において、複数の勘定科目にまたがる取引の場合、勘定科目ごとに分解して計上する必要があります。積上げ計算採用時における「免税事業者等からの課税仕入れに係る経過措置」の「仕入税額とみなす額」について、1つ仕訳を1つの課税仕入れとしてみなして計算しているため、取引単位で計算した場合の「仕入税額とみなす額」と計算結果が異なる場合があります。

- ②少額特例の判定に関する問題

月次・年次での仕訳チェックや証憑から計上した仕訳の訂正時の仕訳チェックにおける、少額特例の判定（取引金額が1万円未満か否か）を仕訳単位で行っています。1つの課税仕入れを、税率や勘定科目ごとに異なる仕訳として分解して計上すると、分解後の金額で判定されてしまい、正しくチェックが行われません。なお、証憑からの仕訳計上時は、金額の判定を取引単位（証憑単位）で行っているため、課税区分の判定や仕訳チェックは正しく行われます。

(2) 複合仕訳への対応

上記(1)の課題を解決するため、証憑からの仕訳計上機能について複合仕訳に対応します。詳細は、以下のとおりです。

- ①複数税率の取引等の場合、複合仕訳形式で仕訳を計上するようにします。なお、単一税率の取引等、貸借科目がそれぞれ1つの場合は、現行どおり単純仕訳とします。

【単一税率の場合】（変更なし）
単純仕訳で仕訳が計上されます。

【複数税率の場合】（変更あり）
複合仕訳で仕訳が計上されます。

- ②仕訳の補正画面（仕訳一覧画面から仕訳を選択して表示できる伝票画面）を、複合仕訳形式にします。なお、貸借科目がそれぞれ1つの仕訳等、単純仕訳として計上される取引の場合でも、複合仕訳形式での補正となります。当画面での補正後、行数が1行のみの場合は、単純仕訳として更新します。

FX4 株式会社 T K C 商店

年 月 日 伝票番号 証憑書番号 受注番号
6 6 21 自動付番 25

要確認(詳細はこちらから)

行	借方			貸方				
	科目名	課税	取引金額	科目名	課税	取引金額	小切手番号	実際の仕入れ年月日
	口座名	事業	(内、消費税等)	口座名	事業	(内、消費税等)	取引先名(仕入先の氏名又は名称)	
1	部門名	税率	税抜き金額	部門名	税率	税抜き金額	元帳摘要(仕入れ資産等の総称)	
			220			220	#	MATSUYA
2		10.0%			10.0%		手土産 箱代 6/21 出張	
			12,130			12,130	#	MATSUYA
3		軽 8.0%			軽 8.0%		手土産代 6/21 出張	
	借方合計		12,350	貸方合計		12,350	差額	0
	(内、消費税等)			(内、消費税等)				

自動仕訳番号 [I] | インボイス・マネジャ | 収支区分

証憑の情報
フォルダ 証憑書綴(紙) | 取引先名 MATSUYA

今後「取引先名」が次の条件に合致するデータを読み込む際に、上記仕訳が初期表示されます。[条件変更]ボタンで変更が可能です。
MATSUYA | と完全に一致 | 条件変更 | ☒ この仕訳を仕訳ルールに加加

[F]前仕訳 [F]次仕訳 [F]確認終了 [F]補正開始

- ③仕訳ルール一覧、仕訳ルールの登録・修正画面についても、複合仕訳形式とします。これに伴い、ご利用中の仕訳ルールについて、[2024年07月版]にレベルアップしたタイミングで複合仕訳形式に変更（コンバート）します。これにより現在ご利用の仕訳ルールを「2024年07月版」以降も引き続きご利用いただけます。

なお、コンバートにあたり、取引内容が重複した仕訳ルールを削除します。また、コンバートできる収支区分は、仕訳ルール 1 つにつき 1 つです。これは複合仕訳自体にセットできる収支区分が 1 つのためです。現在、1 つの仕訳ルールに複数の収支区分を登録してる場合、収支区分が登録されている仕訳のうち先頭の仕訳の収支区分のみがコンバートされます。レベルアップ後に必要に応じて修正してください。

- ④証憑からの仕訳計上機能で複合仕訳を計上できるようになることに伴い、「会社情報」タブのメニュー「2 経理情報」で諸口科目を設定していない場合は、当該機能を利用できなくなります。このため、現在、証憑からの仕訳計上機能を利用中で、かつ諸口科目が未設定の場合、[2024年07月版]にレベルアップしたタイミングで科目コード「9991」、「9992」を諸口科目として設定し、[2024年07月版]でも継続して当該機能を利用できるようにします。科目コード「9991」、「9992」が存在しない等、レベルアップ時に設定できない場合は、「会社情報」タブのメニュー「2 経理情報」で諸口科目を設定してください。

- (3) 仕訳計上に係るインターフェイスの改善

証憑からの仕訳計上機能について、より少ない操作で仕訳を計上できるよう次の改訂を実施します。

- ①現状のメニュー「12 証憑からの仕訳計上」では、仕訳の計上に至るまでに、「フォルダ」（旧：書類の種類（※））の選択、及び仕訳の補正画面での確認が必要です。

今回の改訂では、「フォルダ」の選択や、仕訳の補正画面での確認を行うことなく、すべての「フォルダ」の仕訳を一括して計上できるようにします。なお、「フォルダ」ごとに仕訳を計上している現状の運用を考慮し、一括計上する仕訳を「フォルダ」で絞り込めるようにします。

(※) 証憑保存機能[2024年07月版]で、「書類の種類」の項目名を「フォルダ」へ変更しました。

- ②「仕訳ルールによる計上」タブ及び「自動生成された仕訳の計上」タブを廃止し、証憑保存機能やインボイス・マネジャー（F X 4 クラウド）から連携された、すべての仕訳を一覧表示し、一括計上できるようにします。

計上	状態	フォルダ	月日	証憑 番号	勘定科目名 補助科目名	税率	取引金額 消費税等	勘定科目名 補助科目名	税率	取引金額 消費税等	取引先名 登録番号
✓	OK	仕入請求書 (電子)	6.12	11000	商品仕入高	5	138,028 12,548	買掛金	0	138,028	茨城物産 (株)
✓	OK	仕入請求書 (電子)	6.18	14000	商品仕入高	5	164,160 12,160	買掛金	0	164,160	フレッシュフー
✓	OK	仕入請求書 (電子)	6.18	23000	商品仕入高	5	10,694 972	買掛金	0	10,694	東京食品
				23	商品仕入高	5	2,160 160	買掛金	0	2,160	東京食品
✓	OK	仕入請求書 (電子)	6.20	13000	商品仕入高	5	68,695 6,245	買掛金	0	68,695	東九商事 (株)
✓	OK	証憑書綴 (紙)	6. 2	20000	販売員旅費	5	800 73	未払金	0	800	広島バークینگ
✓	OK	証憑書綴 (紙)	6. 8	21000	接待交際費	5	216 20	未払金	0	216	M A T S U Y A
				21	接待交際費	5	4,126 306	未払金	0	4,126	M A T S U Y A
✓	OK	証憑書綴 (紙)	6. 9	16000	販売員旅費	5	2,580 235	未払金	0	2,580	阿見合同タクシ

全データ: 15件 (OK: 15件、要確認: 0件、対象外: 0件)

①証憑(「対象外」を除く) 15件 590,659円 ②今回計上 15件 590,659円 差額(①-②) 0円

修正または詳細確認をする明細をダブルクリックまたはエンター・キーで選択してください。

F2 前頁 F3 次頁 **F4 一括更新** F7 仕入れ日 F8 元帳摘要 F9 計上対象外 F0 フォルダメニュー

(4) 改善要望への対応

- ①仕訳の補正画面で仕訳辞書を選択した場合や仕訳 D B から入力済の仕訳を選択した場合、取引金額に加え、税率、取引先名及び元帳摘要については、仕訳辞書等の値を上書きせず、証憑保存機能等から受信した内容のままとするようにします。
- ②新しい取引内容で仕訳を計上する際に、選択により仕訳ルールを登録できるようにします。
- ③仕訳の補正画面で、元帳摘要欄へのフォーカス時に、[F7明細複写]ボタンで、証憑保存機能等から受信した内容を複写できるようにします。
- ④仕訳ルール一覧画面で、仕訳ルールの切り出し、読み込み機能を搭載します。これにより、仕訳ルールの編集・削除を、より効率的に行えるようになります。
- ⑤メニュー「12 証憑からの仕訳計上」について、「仕訳連携」タブのメニュー「2 他社システム自動仕訳の読込」、E x c e l からの仕訳計上機能と、同時に利用できるようにします。

(5) その他の改訂

- ①メニュー「12 証憑からの仕訳計上」から計上したすべての仕訳について、自動仕訳番号に「I」を付与するようにします。これにより、メニュー「41 仕訳帳」等の「条件検索」で、当該メニューから計上した仕訳を検索できるようになります。

- ②仕訳計上する際の仕訳ルール自動登録時に、すでに課税区分[5]で同じ取引内容の仕訳ルールが登録されている場合は、課税区分[52]の仕訳ルールを自動登録しないようにします。
- ③仕訳ルールに登録する課税区分について、[5]や[52]とは別に[5/52]といった課税区分を登録できるようにします。
[5]や[52]等の課税区分を登録した仕訳ルールを選択した場合は、取引金額や事業者登録番号等にかかわらず、登録されている[5]や[52]等がそのまま仕訳にセットされます。一方、[5/52]等の課税区分を登録した仕訳ルールを選択した場合は、取引金額や事業者登録番号等に応じて課税区分を自動判定します。なお、課税区分[5]や[52]等の仕訳ルールについて、[2024年07月版]にレベルアップすると、課税区分が[5/52]等になります。
- ④仕訳一覧画面で仕訳ルールを適用時に、取引先の約定をもとに支払予定日及び回収予定日を自動でセットし、予定日の確認画面を表示することなく、そのまま仕訳を計上できるようにします。
- ⑤インボイス・マネジャーから自動生成された仕訳について、「会社情報」タブのメニュー「3 システム情報」で「伝票番号の入力」を「自動付番しない」に設定している場合、伝票番号が空欄の仕訳は、仕訳計上時に伝票番号に「1」をセットするようにします。
- ⑥以下のメニューから、証憑保存機能及び証憑からの仕訳計上機能に係るレベルアップ内容を動画で確認できるようにします。
 - 1)「日常業務」タブのメニュー「12 証憑からの仕訳計上」
 - a. 仕訳一覧の[解説動画]ボタン
 - b. 仕訳一覧で仕訳を選択した後表示される仕訳の補正画面の[解説動画]ボタン
 - 2)「会社情報」タブのメニュー「47 証憑からの仕訳計上準備」の[解説動画]ボタンなお、[証憑保存機能 利用ガイダンス]は、「日常業務」タブのメニュー「13 仕訳への証憑貼付」の[解説動画]ボタンから確認が可能です。

2. サービス開始予定日時

令和6年7月22日(月)午前6時

3. 利用上のご注意

- (1)「会社情報」タブのメニュー「2 経理情報」で諸口科目を設定してください。諸口科目を設定していない場合、メニュー「12 証憑からの仕訳計上」が起動できなくなります。
- (2)メニュー「12 証憑からの仕訳計上」で[2024年06月版]以前に受信した仕訳は、[2024年07月版]へのレベルアップ前に仕訳計上してください。未計上の状態でレベルアップすると、補正内容が破棄され、仕訳ルールが再適用される場合があります。
- (3) [2024年07月版]にレベルアップ後、仕訳ルールを確認し、必要に応じて修正してください。仕訳ルールの複合仕訳形式への変更に伴い収支区分が変更される場合や、重複した仕訳ルールが削除されている場合があります。

以上